大仙市立太田中学校　学校だより　　平成２７年８月２４日

太中 Colours！！　～171の輝きでつくる感動色～

ご意見・ご感想はこちらまで　ot-otatyu@edu.city.daisen.akita.jp　　Ｎｏ．７０

さようなら夏休み！　今日から再出発！

約１ヶ月間の夏休みが終わりました。今年の夏休みは、皆さんにとってどんな夏休みでしたか？「自分の夏休みはパーフェクトだったぞ！文句なし！最高！」なんて言える人はいますか？おそらく、そんな人はあまりいないと思います。つまり、だいたいの人たちは、「もっとココをやっておけばよかった」とか「予定の半分しかいかなかった」とか、いろいろと反省をしていると思います。決してパーフェクトな夏休みではなかったことでしょう。しかし、それが普通だと思います。人間が成長したり、前進したりするときに、何もなしにスルスルと伸びていくことはありません。一歩後退、二歩前進！失敗したり不十分な所を乗り越えて前進していくのです。だから、この夏休みに何ができなかったのかではなく、何がやれたのかをしっかり確認することが大切なのです。自分は、コレだけはやれたぞ！といえるものを一つでも見つけてみよう。小さいことでもいいのです。「夏休みの学習課題だけはしっかりやれたぞ」とか「苦手なあの教科のあそこの所は少しわかってきたぞ」とか「本をいっぱい読んだぞ」とか「部活動は頑張ったぞ」とか何でもいいのです。必ず一つはあるはずです。そこに自信をもとう。そこから再出発すればいいのです。前期後半は太中祭をはじめとする行事の多い月です。超多忙な日々が続きます。さぁ、今日から前期後半のスタートです。見通しをもった生活を心がけよう。

最初の３日間が勝負！！

夏休みモードから学校モードに切り替えなくてはいけません。最初の３日間が勝負です。この３日間は、自分を変えることができる黄金の３日間です。夏休み前にはできなかったことを、夏休み後には頑張りたいと思うなら、最初の３日間で意識してやってみてください。発言を増やそうと思うのなら、最初の授業で進んで挙手しましょう。家庭学習３時間を目標にするのなら、今日から始めましょう。そして必ず３時間やりましょう。思ったこと、決めたことは、今日からの３日間で即実行に移すことです。今、できなかったら、できないまま冬休みを迎えてしまいます。最初が肝心です。

楽をしたいと思う弱い自分に打ち克つことです。受検生の蒼空学年の皆さんにとって、一番のライバルは自分自身です。

高校生球児から学ぶ「諦めない心」

今年も夏の甲子園大会では、高校生球児たちの熱い戦いが繰り広げられました。高校野球１００年という記念すべき大会を制したのは神奈川県代表の東海大相模高校。最終回で東海大相模高校の小笠原選手の勝ち越しホームランで流れが変わり、１０対６で４５年ぶり２回目の優勝が決まりました。試合後、東海大相模高校の門間監督は、「よく最後まで、しつこく、諦めずに、粘り強く、負けから立ち上がってここまできてくれた・・・感謝の一言です。」と涙をこらえて語っていました。高校生球児たちの最後まで諦めない姿は、見る人すべての心を揺さぶったのではないでしょうか。

高校生球児たちの戦いは、時に筋書きのないドラマが起きます。清宮選手で話題となった早稲田実業高校も、予選の西東京大会の決勝では、８回に５点差をひっくり返して優勝。奇跡の逆転劇で、甲子園の出場を決めました。昨年は、石川県大会で星稜高校が９回に８点差を逆転して話題になりましたが、今年はその時の対戦相手だった小松大谷高校が星稜高校と再び対戦し、９回に４点差を逆転してリベンジを果たしました。

こうした逆転劇を支えているのは、最後まで諦めずに戦い抜く力と日々の地道な努力です。奇跡は偶然ではなく、必然の中で生まれるのです。これは、スポーツに限らず、あらゆる領域でも言えることです。太中生一人一人にも、こうした不屈の精神をもって、これからの学校生活を送ってほしいと思います。